

NHKエデュケーショナル

2023年度 事業計画

基本方針

NHKエデュケーショナルは、1989年の創立以来、NHKの重要な使命のひとつである「教育」分野のコンテンツ制作を専門に担ってきました。子ども幼児、学校教育、美術、教養、語学、趣味、実用、科学、健康など多彩なジャンルで、Eテレを中心に、総合テレビ、衛星放送、国際放送、ラジオ第2放送などで、年間1万本近い番組を制作しています。さらに、そこで培った専門性やノウハウを生かし、イベントや映像制作を中心とした多様なコンテンツを生み出し、放送以外にも広く提供しています。

NHKエデュケーショナルは引き続き多彩なコンテンツを制作し、人生100年時代の「学び」を支援します。NHKグループの一員として、確かな情報・サービスを一人ひとりに届け、多層化し分断が進む社会をつないでいきます。デジタルサービスを充実させ、メディア環境の変化と視聴スタイルの多様化への対応を進めます。貴重な文化財や優れた芸術を最高水準の8K映像で記録し、未来に伝えていきます。

こうした様々なサービスを放送・放送以外のあらゆる形で広く提供し、社会貢献の役割を果たすため、引き続き「スリムで強靱」な体制の整備に取り組みます。NHKメディアホールディングスの傘下各社との連携を進め、より専門性を発揮するとともに、業務の効率化を進め、株式会社として適正な利益を上げ持続可能な体制を構築し、ガバナンス強化にも取り組みます。

重点施策と行動計画

1. NHKグループ各社の連携による相乗効果で新規事業を開発

●NHKエデュケーショナルの持つ教育コンテンツの専門性をNHKグループ各社との連携によってより大きく展開し、新たな事業、スキームの開発につながる提案を積極的に行う。

- ・NHKグループ各社が個々に展開しているサービスや商品のニーズ、費用等に関する市場調査と自社分析を行い、集中投資に向けた準備を進める。

2. 働き方改革と生産性の向上を両立

●長時間労働によらない収益構造を実現するために、生産性の指標を導入し、業務の効率化を図る。

3. ガバナンス強化、コンプライアンス向上

●業務フローを見直し、全社的な業務の軽減、効率化・高度化を果たすと同時に、適正経理や法令順守の強化に取り組む。

4. 営業利益率の改善

- 経営管理の高度化を進め、社内の意識改革と経営資源の最大活用を徹底することで、会社の健全な成長に資する適正な利益を確保するとともに、NHKグループ全体への貢献を高める。
 - ・ 予実管理の精度の向上とモニタリング体制の整備を進める。
 - ・ 固定費の見直し、および収支構造の改善を行う。

5. 経営の強靱化に向けた人事制度改革、人材育成施策の整備

- 2023年度から2025年度にかけて、人事制度全般のありようを検討し改革を進める。
- 新たな中期経営計画（2024年度～2026年度）の策定と並走しながら、社員に求める能力、スキル、人材像を明確化し、より効果的な育成施策を整備する。

収支計画・予算

(単位 億円)

売上高	営業利益	当期純利益
238.1	6.0	4.0